



鶴居小のあゆみ

学校長 友定和貴

2月20日（土）、鶴居小学校は創立133年を迎えました。週明けの朝会で子どもたちに鶴居小の歴史について話しました。創立は明治21年です。明治5年頃より甘地村から新野村までの村がくっついたり離れたりしながら、校区や校名が何度も変わりましたが、明治21年に小室から澤までの6村で鶴居尋常小学校が作られました。屋形村と浅野村も同年、就正簡易小学校だったものが尋常屋形就正小学校に校名が変わりました。

地域では、明治27年に播但線が開通し、明治30年には板で作られた屋形橋が市川に架けられました。それまでは舟銭を取って滑綱渡り舟が人を渡していたようです。屋形橋は、このあと昭和8年にアーチ型のコンクリート橋に架け替えられました（建設時にはアーチが2つ）。

戦後になり昭和22年、新学制が発足し、校名が国民学校から鶴居小学校と屋形小学校に変わりました。また、6・3・3制により鶴居中学校が発足しました。

昭和30年7月25日、鶴居村・甘地村・川辺村・瀬加村が合併して市川町が発足しました。当時の人口は16385人です。

校舎は、昭和29年に講堂が敷地南側に完成しました。木造校舎は老朽化していたので昭和33年、郡内では初めてとなる鉄筋コンクリート3階建ての新校舎が完成しました。水洗便所も設けられていました。

昭和39年、開校以来92年の長い歴史を持つ屋形小学校が廃校となりました。それに伴い屋形地区の79名は鶴居小学校に、浅野地区の23名は川辺小学校に編入されました。この年には、学校内に給食施設が出来上がり町内初の学校給食が始まりました。幼稚園の園舎も完成しました。

昭和57年より校舎移転の話合いが何度かもたれたようですが合意には至らず、現在の場所での改築となりました。そして、昭和63年3月に体育館、10月には新校舎と現在使われている鶴居小学校が完成しました。しかし、屋形小学校の校舎が取り壊された年でもありました。

このような歴史を歩んできた本校も近年は児童数の減少に悩まされています。10年後、20年後の鶴居小学校はどうなっているのでしょうか。

（10年ごとの児童数の推移）

	S22	S32	S42	S52	S62	H8	H18	H28	現在	R8
鶴居小	501	542	482	391	370	329	230	164	119	67
屋形小	174	139								
計	675	681	482	391	370	329	230	164	119	67



木造裏校舎



講堂



鉄筋表校舎